

ぐるり39

～自治調査会だより～

2018
8

No. 059

[発行日]
2018.8.1



【写真提供・撮影場所】大島町 裏砂漠

▶ 理事会・評議員会を開催しました 2	・ 広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介 7
▶ オール東京62市区町村共同事業	檜原村 郷土芸能お祭り見学会
みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介 3	▶ 編集後記 7
稲城市 稲城市外来生物駆除ボランティア2018	▶ とっておきフォトスポット～大島町～ 8
羽村市 リユース食器貸出事業	
青ヶ島村 LED照明導入促進事業	
▶ ちょっと一息「とっておきの島しょの土産」 4	
▶ 多摩交流センターだより	
・ 多摩発・遠隔生涯学習講座8・9月開催予定の講座案内 5	
・ 東京雑学大学9月講義案内 5	
・ 第22回 多摩の歴史講座 多摩の民族芸能にふれる 6	

Contents

8月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

理事会・評議員会を開催しました

平成30年5月に開催した理事会・評議員会で承認・決定された主な内容を簡単にご紹介します。

I. 平成29年度事業報告及び収支決算(下記の内容が承認されました。)

※下記の内容(一部を除く)は、当調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)にて閲覧・ダウンロードすることができます。

【事業報告】

1. 調査研究事業

①市町村の広域的・共通の課題についての調査研究(5テーマについて調査研究報告書を発行)

スポーツを活用した地域活性化に関する調査研究(ケーススタディ:立川市・国分寺市)

多文化共生に向けた地域における国際交流に関する調査研究

多摩地域における都市農業の保全と振興に関する調査研究

多摩・島しょ地域における新地方公会計の利活用に関する調査研究

多様化する働き方を踏まえた職場づくりに関する調査研究

②市町村職員の身近な疑問等に関する調査(情報提供誌「ニュース・レター」に掲載)

③毎年度実施の調査(4件の調査報告書を発行)

多摩地域データブック2017(平成29)年版

多摩地域ごみ実態調査(平成28年度統計)

市町村財政力分析指標(平成19年度から平成28年度)

市町村税政参考資料(平成19年度から平成28年度)

2. 共同事業

①多摩・島しょ広域連携活動助成事業

②多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業

③多摩・島しょわがまち活性化事業助成事業

④みどり東京・温暖化防止プロジェクト

⑤協賛事業「愛らんどリーグ(サッカー大会)」

3. 普及啓発事業

①出張フォーラム実施(調査研究結果の市町村への還元)

②シンポジウム「『多摩・島しょ地域』×『スポーツ』でまちを元気に
～スポーツが持つ力とスポーツコミッションの可能性～」開催

③情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」発行

④機関紙「ぐるり39～自治調査会だより～」発行 等



4. 広域的市民活動への支援(多摩交流センター事業)

①交流の場の提供

②広域的な市民ネットワーク活動等への助成

③生涯学習講座開催(TAMA市民塾との共催)

④多摩地域に関する情報の発信 等

【収支決算】(貸借対照表)

資産の部		負債・正味財産の部	
流動資産	149,695千円	負債の部	48,156千円
固定資産	4,578,028千円	指定正味財産	3,790,000千円
		一般正味財産	889,566千円
合計	4,727,723千円	合計	4,727,723千円

※各数値を四捨五入しているため、表内の数値の合算と合計が一致しないことがあります。



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された事業を紹介します。

かれん

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

シーナ



① 稲城市

稲城市外来生物駆除ボランティア2018

稲城市では、市内外でボランティア活動を行う駒沢女子大学アクティ部(稲城市)と連携して、多様な観点から外来種駆除を進めています。これまでも「アメリカザリガニ」をただ駆除するだけでなく、食することで命の尊さについても考えてきました。

今年は、市が緊急的に実施する特定外来生物「オオキンケイギク」の駆除にもご協力いただき、1時間の作業で230kgを抜き取りました。駆除したオオキンケイギクは、エコバッグの草木染めの染料として活用し、様々な模様を付けて染め上げ、世界で一つだけのマイバッグづくりを楽しみました。

【問合せ先】稲城市 環境課 TEL 042-378-2111



② 羽村市

リユース食器貸出事業

羽村市では、市内の団体、事業者、個人の方が行うイベントにリユース食器の貸出しを行っています。平成29年度は、貸出食器総数52,346個、3,692kgの二酸化炭素排出量を削減しました。リユース食器を使用し、廃棄物となってしまう使い捨て容器を削減することで、低炭素な事業や生活を推進しています。

使い終わった食器は洗浄する必要もなく、返却するだけ。実際にご利用をいただいた皆さんからは、「ゴミも出ないし、便利でエコ!」という声をいただいています。また、リユース食器の原料の低炭素化にもこだわった、バイオマスプラスチック製の食器も取り揃えています。

【問合せ先】羽村市 環境保全課 TEL 042-555-1111(内線227)



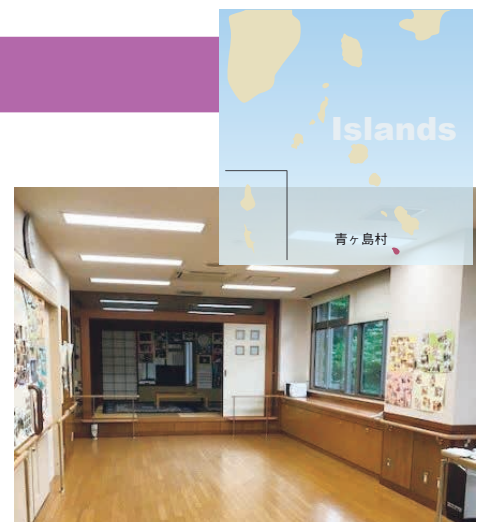
③ 青ヶ島村

LED照明導入促進事業

青ヶ島村では、CO₂排出量の削減を進めるため、公共施設の照明器具をLED照明へ順次更新しています。平成29年度は、保健・医療・福祉施設が一体となった総合施設「おじゃれセンター」の在宅サービスセンター部分の廊下と部屋をLED照明へ更新しました。

「おじゃれセンター」は、普段は、在宅サービスセンターのほかに、診療所・保育所もあり、電気の使用量も多く、LED照明へ更新したことにより、他の施設よりCO₂削減の効果が期待できます。また、非常時には避難施設となっており、LED照明は電力量を抑えることができるので、非常用発電機の稼働時間延長も見込めます。

【問合せ先】青ヶ島村 総務課 TEL 04996-9-0111





ちょっと一息

とっておきの島しょの土産



先月から、東京の島しょ地域のお土産を掲載しているよ。第2弾は、大島と青ヶ島のお土産を紹介するね。

大島



桜の花びらジャム

名産の桜は、大島のいたるところで見ることができるんだ。この桜の花びらを使ったジャムは、安心の手作り・無着色で、甘さ控えめなんだって。パンやヨーグルトにもってこいだね。



三原椿油

椿の実から抽出してつくった油だよ。オレイン酸を多く含んでいて、酸化しにくく、化粧用の油として最適なんだ。日本では、平安時代から女性が黒髪を守る油として愛用していたんだって。



青むろあじくさ

新鮮な魚をくさや液と呼ばれる独特のにおいを持つ発酵液に漬けてから、天日干しにして作っているんだ。青むろあじは、表面が青くて、身が厚く、かめばかむほど、味が出るんだよ。

青ヶ島



ひんぎゃの塩

黒潮の海水を汲んで、青ヶ島の火山の噴気孔（ひんぎゃ）の地熱を利用して、じっくりと時間をかけてつくった塩だよ。一般的な食塩よりも、カルシウムを豊富に含むんだ。



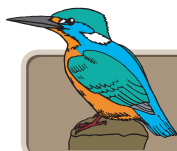
あおちゅう

青ヶ島で、ほとんどの工程を人の手でつくっている芋焼酎だよ。自然に繁殖する麹菌の量や種類が様々で、毎年味わいに変化するんだ。アルコール度数が高めだから、飲みすぎないようにね。

今回紹介したお土産は、6月号で紹介した、竹芝客船ターミナル内のアンテナショップ「東京愛らんど」(最寄駅はJR浜松町駅ほか)で販売しているから、ぜひ見てみてね。

東京愛らんどホームページ(<https://www.tokyoislands-net.jp/>)でも、通信販売しているよ。

【情報提供】公益財団法人 東京都島しょ振興公社 TEL 03-5472-6546



多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



8・9月開催予定の講座案内

174回

題名 日本画と旅

日時 平成30年8月9日(木) 14:30から約1時間

講師 安東 路翠 氏(日本画家)

内容 今回は、日本画の製作に欠かせない旅について、作品を紹介しながら話していきます。『仏教東漸』・『天人が芝』・『法隆寺』・『斑鳩の風』・『世阿弥』などの作品を取り上げ、その背景のあるもの、古代から現代に至る宗教その他の精神空間についても考えていきたいと思います。



175回

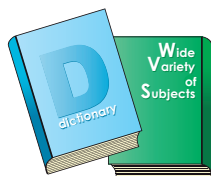
題名 老健施設とは 日時 平成30年9月13日(木) 14:30から約1時間

講師 緒方 博丸 氏(医学博士、独協医科大学名誉教授、元老健施設長)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道(8月9日)、武蔵野市西久保コミュニティセンター(9月13日)
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先 TEL 070-2648-3520(高原) TEL 042-252-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成30年9月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は9月13日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1147回	9月6日(木) 14:00から	明治維新に至る薩摩藩の財政	大江 修造 氏 (元東京理科大学教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1148回 ※	9月13日(木) 14:30から	老健施設とは	緒方 博丸 氏 (医学博士、独協医科大学名誉教授、元老健施設長)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター (JR三鷹駅北口 徒歩7分)
第1149回	9月20日(木) 14:00から	“ <small>ぎしわじん</small> 魏志倭人伝”を読んでみよう	玉川 千里 氏 (記紀講師、元森永製菓(株)取締役、 元森永スナック(株)社長)	コール田無 2階 イベントルーム (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)
第1150回	9月27日(木) 14:00から	葬式も墓も多様化の時代 ～賢い選択を考える	有馬 将由 氏 (NPO法人終活支援センター代表)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1148回は、第175回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

問合せ先 TEL 042-465-3741(浅田) TEL 042-252-0908(菅原)

たましん地域文化財団・
東京市町村自治調査会共催

多摩の歴史講座

第22回

多摩の民俗芸能にふれる

多摩の民俗芸能は江戸・東京の影響を受け、多種多様です。本講座では、その中から神楽・獅子舞・説経節・車人形・農村歌舞伎を取り上げます。伝承者から直に歴史を解説いただき、実演・ビデオ・体験なども合わせてその芸能にふれる講座です。第3講では、国・選択無形民俗文化財、東京都指定無形文化財である八王子車人形西川古柳座の稽古場の見学会を行います。ふるってご参加ください。

〈会場略図〉



第1講

9月21日(金) 13:30~15:30

「神楽がきた道〜太々神楽と里神楽を中心に〜」

講師：久保田 裕道 氏 (独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所 無形文化遺産部無形民俗文化財研究室長)

第2講

10月5日(金) 13:30~15:30

「若松派誕生150年〜説経節の継承と創造〜」

講師：若松 若太夫 氏 (説経節若松派三代目家元)

第3講

10月19日(金) 13:30~15:30

見学会「古典の素晴らしさ、未来を切り開く新作の楽しさを次世代に〜八王子車人形〜」

講師：西川 古柳 氏 (八王子車人形西川古柳座五代目家元)

会場：八王子車人形西川古柳座稽古場 (八王子市下恩方町1566)

内容：車人形の歴史や機構、動きの解説、舞台上での実演、人形(首・衣装)や「ろくろ車」の見学、希望者には車人形の操作体験

第4講

11月2日(金) 13:30~15:30

「八王子・小津の獅子舞〜天然理心流の流れをくむ太刀遣い〜」

講師：山下 正男 氏 (小津獅子舞太刀保存会会長)

第5講

11月16日(金) 13:30~15:30

「庶民と共に生きる歌舞伎〜郷土芸能としての歌舞伎を伝える〜」

講師：白橋山 誠 氏 (秋川歌舞伎保存会あきる野座座長)

■場 所 多摩信用金庫府中支店4階会議室(京王線府中駅南口2分)
※第3講のみ八王子車人形西川古柳座稽古場(JR中央線高尾駅よりバス15分、「川原宿大橋」バス停より徒歩10分)

■参加費 無料

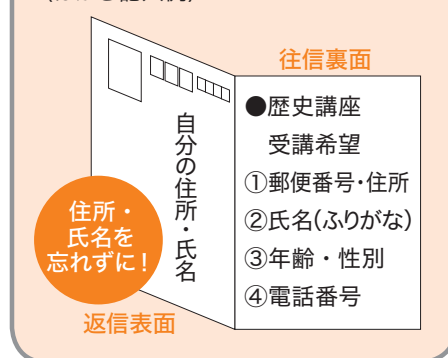
■申込方法 記入例を参考に往復ハガキで一人様1枚でお申込みください。

■申込締切 平成30年9月4日(火) 当日消印有効

■定 員 100名(定員を超えた場合抽選となります。)

■申 込 先 〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第二庁舎6F
多摩交流センター内「多摩の歴史講座」係■お問合せ 《講座内容について》たましん地域文化財団 TEL 042-574-1360
《お申込みについて》多摩交流センター TEL 042-335-0100

〈はがき記入例〉



広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介

檜原村 郷土芸能お祭り見学会

実施日 ①9月1日(土) 18:40~23:00頃 ②9月9日(日) 11:00~18:00頃
③9月15日(土) 17:00~0:30頃

(いずれも祭り主催者等の都合により変更の可能性あり。詳しくは下記問合せ先へ)

場 所 檜原村各集落の祭り会場 (集合・解散は「檜原村教育の森」または「レストラン四季の里」)

内 容 ①式三番 ②獅子舞・太神楽・馬鹿面囃子 ③神代神楽
都指定の無形民俗文化財にもなっている、檜原村の郷土芸能に触れる見学会(解説冊子付)を開催します。(※①・③は終了が深夜になりますのでご注意ください)

参加費 4,000円~8,000円(開催日により異なる)
(※①・③の終了後に宿泊を希望される場合は別途4,000円)

主 催 檜原学芸社

問合せ 檜原学芸社 担当 熊野・小澤
TEL 042-598-6928(NPO法人フジの森内)
E-mail hinohara-gakugeisha@outlook.jp



「多摩交流センターだより」の問合せ先

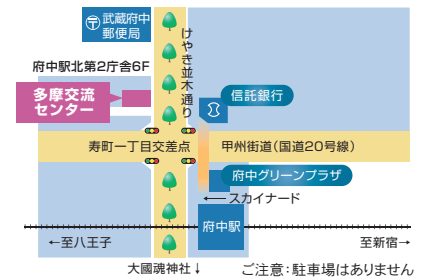
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 暑い日が続いています。涼を求めて避暑地や海水浴に出かけたり、夏休みを利用して観光地を巡ったりする方も多いことと思います。
- ところで、毎年8月に大勢の人が訪れる場所として、東京の島しょ地域があげられます。
東京の島しょ地域は、伊豆諸島と小笠原諸島から成り、無人島を含めると200以上の島がありますが、このうち、伊豆諸島の9島(大島、利島、新島、式根島、神津島、三宅島、御蔵島、八丈島、青ヶ島)、小笠原諸島の2島(父島、母島)の11島が「東京の島」としてよく知られています。
- 平成30年3月1日現在、島しょ地域の人口は2万5千人余で都全体の0.2%ほどですが、面積では約407km²で約19%を占めています。
この地域は、我が国の排他的経済水域の約38%を占めるなど、資源確保の戦略上、重要な役割を担っているほか、複雑な海底地形と黒潮の流れにより、豊富な海洋資源に恵まれた日本有数の好漁場で、漁業は地域の基幹産業となっています。
- 島しょ地域は、今月号の表紙にも掲載されている大島町の裏砂漠、八丈町の南原千畳敷、小笠原村の南島など多様な地形と美しく個性的な自然景観を有する一方、サクユリ、アカコッコ、ハハジマメグロなど様々な固有の生物が生息するなど、国内有数の自然が残された貴重なエリアとなっています。
- また、新島では、ここで採掘される「コーガ石」を原料とした、オリブ色に輝く「新島ガラス」の制作体験ができ、八丈島では島に自生する草木を原料とする天然染料を使用した「黄八丈」の絹織物体験を楽しむことができます。
- 様々な魅力満載の島しょ地域ですが、各町村が情報発信やPR等を通じて島の魅力を高める取組を行ってきた結果、近年、来島者は増加傾向にあります。
- 伊豆諸島の中には飛行機で1時間以内で行ける島もいくつもあり、高速ジェット船が就航している島も多くあります。また、調布飛行場からは、大島、新島、神津島、三宅島へも就航しており、多摩地域からの交通アクセスも良いと言えます。
- 当調査会は、調査研究業務や協賛事業などを通じて、島しょ地域の自治体の発展や振興のお手伝いをしています。
7月号で報告した「島じまん2018」のほか、今月6日から新島で開催される「愛らんどリーグ」にも協賛し、サッカーを通じた島しょ地域の子どもの交流を後押ししています。
さらに、今年度は「東京島しょ地域におけるインバウンド拡大策に関する調査研究」を実施しており、魅力あふれる島しょ地域を訪れる外国人観光客の増加に向けた方策について検討を行っています。
まだまだ夏真っ盛りの魅力あふれる東京の島々に、是非出かけてみてください。(S. K)



とっておきフォトスポット

第8回 大島町

きれいな景色やおもしろいものを見つけたら、写真を撮りたくなるよね。

今回はわたげのボクが「秋の浜」と「サンセットパームラインの赤禿」を紹介するよ。

あかっぱげ



秋の浜

@WATAGE



島の北部にあって、透き通るような透明度の海は、絶好のシュノーケリングポイントなんだ。砂浜はないけれど、岩場にハシゴも設置されているので、子どもでも海の中に入りやすいよ。

撮影のPOINT!

- 岩場から見ただけでもわかるくらい、透明度抜群だから、海の上からでも海の中をある程度確認できるよ。
- 海の生き物が豊富な人気のスポットで、ダイビングではクマノミやカエルアンコウを撮影できるよ。



サンセットパームラインの赤禿

@WATAGE



サンセットパームラインは、元町港から野田浜までの、サイクリングやドライブに絶好の海沿いのコースなんだ。コースの途中には、「元町浜の湯」(水着着用、露天風呂有)「愛らんどセンター御神火温泉」があって、ゆっくり休めるよ。コースの中間地点には、近くの火口から、激しく噴き出した熱い溶岩の粒が降り積もってきた、赤禿と呼ばれる赤い丘があるよ。

撮影のPOINT!

- 赤禿では、夕暮れ時に、海に沈む夕日がとてもきれいに見えるんだ。
- 昼間は、伊豆半島が眺められて、赤い溶岩と青い海の鮮やかなコントラストを撮ることができるよ。



[現地案内]

◎大島へのアクセス

《航路》

竹芝桟橋から高速ジェット船で約1時間45分
竹芝桟橋から大型客船で約8時間

《空路》

調布飛行場から約25分

[情報・写真提供]

大島町観光課 TEL 04992-2-1446

◎秋の浜へのアクセス

元町港から車で約20分

◎サンセットパームラインの赤禿へのアクセス

元町港から車で約5分

◎裏砂漠へのアクセス

元町港から車で約30分



写真を撮るときは、周囲の状況をよく確認し、柵を越えたり立ち入り禁止区域に入るなど、マナー違反にならないようにね!

注意

【発行日】平成30年8月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】岸上 隆

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。